

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：よつば・にこる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 | |
|-----------------|---|--|----|---------------|-----|--|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 6 | | | 活動スペースは十分広く動きやすい環境にあります。 学習スペースと遊びや活動に使うスペースを区切ってあります。 指導訓練室は国の定める基準の約2～3倍の面積を有しています。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 6 | | | 国の基準よりも2名多く指導員を配置しています。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 6 | | | ①施設の床は段差の無い使用となっています。 ②児童様を使うトイレには手すりや、ドアが勢いよく閉まらないような作りになっています。 ③スケジュールやルール等を説明する際、絵カードや写真などを使用し、視覚的構造化を用いながら、児童様が理解しやすい工夫をしています。 | |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 5 | 1 | | 朝礼と終礼での活動等の振り返りや申し送り事項の確認をしています。 児童の個別支援計画作成、モニタリング作成に指導員も参画しています。 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 1 | 3 | 2 | 平成30年1月下旬に、保護者様に対してアンケート調査を実施致しました。いただいたご意見を業務改善につなげていきます。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | | | 1 | 5 | 自己評価表をホームページで公開致します。 改善時期：平成30年3月 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | 2 | 4 | 保護者様アンケートを実施して、いただいたご意見等を業務改善につなげます。 改善時期：平成30年3月 |

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：よつば・にこる

| チェック項目 | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|----------|------------------------------|----|---------------|-----|---|
| 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 6 | | | ①毎週火曜日に施設長研修を実施しています。 ②毎週木曜日に男性職員を対象とした研修を実施しています。 ③女性職員を対象として研修を実施しています。(不定期) ④毎週金曜日に全職員を対象とした会議・研修を実施しています。 ⑤毎月一回、全職員を対象にとして、外部講師を招いての研修を実施しています。 ⑥外部研修への職員の参加を行っています。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | 6 | | | 放課後等デイサービス計画作成において、指導員を交え支援の進捗状況や課題の設定を行っています。またモニタリング及び個別支援計画の説明において、保護者様のご要望もお聞きしながら、個別支援計画に反映させていただいております。 |
| | 10 | 5 | 1 | | アセスメントツールとしてS-M社会能力検査と、保護者様からご提供いただいた検査結果(WISC等)を使用しています。また、平成30年4月から新たなアセスメントツールとしてVineland-Ⅱ適応行動尺度を使用する予定です。 |
| | 11 | 6 | | | プログラム担当(メイン・補助)を決め、新しいプログラムの立案について、他の職員の意見を取り入れながら決定しています。 |
| | 12 | 6 | | | 毎日活動プログラムを変えています。また新しいプログラムの随時立案し実施しております。 |
| | 13 | 4 | 2 | | 各種プログラムはS-M社会生活能力検査の下位領域である【身辺自立】【移動】【作業】【コミュニケーション】【集団参加】【自己統制】の何れかを高める目的が設定されています。また学校休業日は、児童様にの地域交流の機会を提供させていただくため、外出プログラムを多く取り入れています。 |

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：よつば・にこる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|------------------|----|--|----|---------------|-----|--|
| 適切な 支援の 提供 | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | 1 | | 集団活動に重きを置いてサービスを提供させていただいておりますが、必要に応じ個別活動も提供させていただいております。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | | | 朝礼及び終礼の後、打ち合わせを行っています。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 6 | | | 終礼時において、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しています。 |
| 適切な 支援の 提供 | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 3 | 3 | | 日報及び日誌を毎日記入し、支援の検証・改善につなげています。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | | | 6カ月に一度モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | 5 | 1 | | 児童様の社会生活能力向上のために、複数の目標を重層的に設定し支援を行っています。 ①自立支援と日常生活の充実のための活動 ・学校の個別支援計画を保護者からいただき、個別支援計画と連動させるなど、共有できる支援は共有しています。 ②創作活動 ・創作系プログラムの実施、自由時間における児童の創作活動の援助を行っています。 ③地域交流の機会の提供 ・外出系プログラムを行っています。 ・ボランティア受け入れを行っています。 ④余暇の提供 ・自由時間の設定をしています。等 |

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：よつば・にこる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|---|---|--|----|---------------|---|---|
| 関係 と機 関の 連 携 保 護 者 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 5 | 1 | | 児童発達支援管理責任者が参加しています。また必要に応じて児童様の担当職員も参加しています。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 5 | 1 | | ①契約時に保護者様が学校様への送迎を希望された場合は、学校様と車両駐車場所や児童様引渡方法等の確認を行っております。 ②保護者様にご協力いただき、学校様が作成した児童様の個別計画のコピーをいただき、個別支援計画に反映するよう努めています。 ③下校時刻の確認や連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を行っております。 -改善目標- 今後よつば・にこるの行事予定及び会報を学校様にお渡します。 改善時期：平成30年3月 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 2 | 3 | 1 | ①医療的ケアが必要な児童様が現在いらっしゃらないため、主治医との連携は行っていません。 ②契約時、保護者様に児童様の掛かりつけ医の情報を重要事項説明書に明記していただき、掛かりつけ医の病院名、主治医、電話番号を把握しています。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 1 | 4 | 1 | 一名の児童様に対して児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を行っていましたが、特に新一年生の児童様をお預かりする場合、就学前の施設様との情報共有に努めてまいります。 改善時期：平成30年4月～ |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | 5 | 1 | 学校を卒業し障害福祉サービス事業所等へ移行する児童様がいらっしゃいませんので、行っていませんが、そのようなことが起こった場合は、情報共有等を行います。 |
| 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 4 | 2 | | 必要に応じて、発達障害者支援センターきりり様に助言を求め、また、きりり様他の外部研修に参加しています。 | |

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：よつば・にこる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|---------------------------------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 関係 と機 関の 関連 や 携保 護者 | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | | 5 | 児童クラブ様や児童館様との交流を行う上で、児童様の特性等の理解や配慮等の調整を行う必要がありますが、現在よつば・にこると児童クラブ様や児童館様との連携が取れていないため実施できておりません。 今後は徐々に児童クラブ様や児童館様との連携を取っていくために情報共有等を通して交流のベースとなる環境を整えるよう努めてまいります。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 1 | 3 | 2 | 発達障害に対する社会的認知度の低さや、放課後等デイサービスだけで行える支援には限界があり、様々な課題を感じています。また、地域で包括的に支援する必要性もあと思いますが、自立支援協議会への参加の機会が得られません。参加の機会をいただけたら、是非参加させていただきます。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 6 | | | 連絡帳をご利用いただき、家庭や学校での様子や課題、相談等を保護者様に記入してもらい、よつば・にこる職員が当日の児童の様子やできたこと、課題等を記入し、保護者様に確認してもらうとともに、送迎の引き渡しの際、当日の児童の様子を口頭で伝えております。また必要に応じて、児童発達支援管理責任者が保護者様と面談を行い、共通理解に努めています。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか | 3 | 3 | | お電話、又は送迎の引き渡しの際、保護者様の対応上の向上に資する助言をさせていただいております。また必要に応じて、児童発達支援管理責任者が保護者様と面談を行い、対応力の向上に資する助言や情報提供を行っております。 |

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：よつば・にこる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | 1 | | ご契約の際、必ず契約保護者様に説明をさせていただいております。また各種お問い合わせの際にも詳しく説明を行っております。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | | | 連絡帳をご利用いただき、家庭や学校での様子や課題、相談等を保護者様に記入してもらい、よつば・にこる職員が当日の児童の様子やできたこと、課題等を記入し、保護者様に確認してもらうとともに、送迎の引き渡しの際、当日の児童の様子を口頭で伝えてまいります。また必要に応じて、児童発達支援管理責任者が保護者様と面談を行い、共通理解に努めています。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 5 | | 父母の会様等の活動支援につきましては、株式会社TRWの活動として、数団体の会の支援をさせていただいております。また一部の保護者様に対しまして、株式会社TRWと関係性を築かせていただいている父母の会様の紹介をさせていただいておりますが、保護者様同士の連携支援につきましては、まだ十分な支援をさせていただいていると申し上げることはできません。 今後は昨年12月に開催した【くるら祭】等のイベントに、保護者様の交流の時間を設定させていただく等を通して、保護者様同士の連携支援に努めてまいります。 |
| 保護者 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | | | ご契約の際、保護者様に重要事項説明書等の説明を通して、苦情対応体制を説明しております。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 6 | | | ①毎月10日に翌月のプログラム予定表と会報を、保護者様に郵送させていただいております。 ②定期的にホームページのブログを更新し、活動内容の紹介を行っております。 |

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：よつば・にこる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|---------------------------------|----|--|----|---------------|-----|--|
| への 説明 責任 等 | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 5 | 1 | | ①個人情報保護に関する職員への周知を行っております。 ②ケース会議等で、個人情報を外部に持ち出す際、個人情報持ちだし記録簿にて管理しています。 ③個人情報は必ず鍵付きのロッカーに保管しています。 ④契約時に保護者様と個人情報取り扱いに関する同意書を取り交わしております。また館内にプライバシーポリシーを掲示しています。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | | | 絵カードや写真カード等を使用し、視覚的構造化を用いた支援を行っております。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 2 | 4 | 事業所の支援体制がより強固になった時点で検討させていただきます。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 6 | | | ご契約の際、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを施設内に掲示し、保護者様に説明させていただいております。職員に対しても、定期的に周知を行っております。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか | 5 | 1 | | 年二回防災訓練を実施しております。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 6 | | | 厚生労働省の障害児虐待防止マニュアル(事業所版)を全職員に配布し、定期的に内部研修を行うとともに、虐待防止規定を全職員に周知しております。また静岡県等が主催する虐待研修に職員を参加させております。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、しているか | | 2 | 4 | ①身体拘束取り扱い要領を作成し、職員に周知しておりますが、放課後等デイサービス計画に記載しておりません。 ②現在、身体拘束を行った事例はありません。 |

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：よつば・にこる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|-----------------------|----|---------------------------------------|----|---------------|-----|---|
| 非 常 対 時 等 | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 5 | 1 | | ご契約時のアセスメントにおいて、必ずお子様に食物アレルギーの有無を確認し、医師の指示書がある場合は、指示書に基づく対応をしております。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 4 | 2 | | 事故報告書及び、ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しております。 |